

広報

おぎかわ

2025. 3. 15 第214号

発行者 荻川コミ協

発行人 窪田吉衛

電話 (24) 5776

荻川の人口

世帯数	7,215戸
人口	18,006人
(前年同日比-125人)	
男性	8,738人
女性	9,268人
(2025年1月末日現在)	

- 荻川を1つの隣組に
- 荻川総ボランティア
- 寝たきりゼロの健康のまちづくり

第25回荻川ちびっこ雪まつり

2月2日、ちびっこ雪まつりがコミセン体育館で開催されました。雪がないため今年も、体育館で行うことになりました。

前日から豚汁の仕込みから始まり、雪まつり当日は天気も晴れて朝は気温が下がりましたが、準備も終わり10時にコミ協の窪田会長の挨拶をいただき中村副会長の「ちびっこ雪まつり」の開始宣言で始まり、開始当初参加者は少なめでしたが、10分を過ぎた頃から子供と親の参加者が増え30分を過ぎた頃には体育館には隙間のないくらい参加者でした。

遊びのプログラムとして、ストラックナイフ・輪投げ・ラフ・大縄跳びは例年通りですが今年も新たに、ポッチャモルックと運動会でも行ったバクダンゲームを行い、子供も大人も体を使って楽しんでいました。その後11時から熱々のトン汁を配って、休憩しながら味わっていただきました。トン汁を食べ終わった頃、全員でビンゴ大会を開催し、ほぼ全員に景品を配布して終了しました。

最後のイベントは、鬼にめがけて厄払いの豆をまき、無事鬼を退治しました。

イベントに協力していただきましたスタッフ、城丸セブイレブオンナーさんと、田中副会長の声かけで今年も参加していただいたカフェの出店の皆さんありがとうございました。たくさんの方の笑顔が光っていました。来年の雪まつりもお楽しみにお待ち下さい。

(保健体育部)



秋葉区ひな・お宝めぐり

2月1日～3月15日開催



生涯学習講座

後期四回目の講座

1月18日(土)、秋葉区地域総務課より「災害から自分や家族を守るために」というタイトルで講演を頂きました。

緊急時、どこに行くのか?避難所はどこなのか?非常用の持出品は?家庭用備品はあるのか?家族で認識を新たにした瞬間です。



「いざ鎌倉」といいますが、「日頃からの備えの必要性を感じました。しかし何よりも大切な最大の防衛力は、「日々の健康を維持すること」だそうでした。是非、興味をお持ちの方は、生涯学習部に「ご入会ください。」(生涯学習部)

第30回「荻川地区市民ゴルフ大会」

「新津カントリークラブ」にて、令和7年6月23日(月)イン(10組)・アウト(10組)とも8時33分スタートでの開催です。

なお、4月下旬に過去5年以内の参加者には「新津カントリークラブ」から「案内」が郵送されます。他の参加希望者には「事務局(石井健司)」に連絡いただければ「新津カントリークラブ」から「案内」をさせていただきます。

荻川コミユニティ振興協議会

会長 窪田 吉衛

副会長 中村 清作

荻川地区市民ゴルフ大会実行委員会

委員長 中村 清作

市之瀬の塞の神

昭和五十七年一月から集落の連帯機能見直しの中で住民総参加の「塞の神行事」が立ち上がったとの事です。高く燃え上がる炎に正月飾りやスルメを焼き今年一年の五穀豊穡家内安全・無病息災をお祈りしました。今年も二月十一日の日曜日に実施しました。

以前は十二メートルその後十メートルの大きさなものでしたが今年も数メートル短くし実施しました。



大人(女性の料理教室)の開催

12月8日(日)、あなたの引き出しを広げてみませんか?をキャッチフレーズに大人(女性の料理教室を開催しました。メニューは「れんこんのはさみ揚げ油淋鶏だれ」「柿の生ハム巻き」「サルサお好み焼き」の三品です。

(参加者K)



荻川よみきかせの会が クリスマス会を開催

昨年の12月14日(土)にコミセンの和室で、恒例の荻川よみきかせの会のクリスマス会が行われました。

今回も盛り上がり、お客様と一緒にお話しながら、お楽しみ会になりました。毎回のハンデルから始まり今回の出し物は、大型絵本「パネルシアター」歌「紙皿シアター」劇などでした。

最後にサンタさんからプレゼントを渡してもらって、皆さんで記念写真を撮りました。

お客様と一緒に、私達も楽しんだひととさせていただきます。

参加して頂きました皆さん、スタッフの皆さんありがとうございました。



門松作りで奮闘しました

昨年末門松作りを実施しました。車場の坂爪さんの竹林より竹を頂き、荻鳥の某スナックで恒例の門松作りを実施しました。コミセンの玄関にも飾りました。



スズメがどんどん減っています

以前地方紙に里山や農地にすむ鳥やチョウの数が急速に少なくなっていることが環境省の調査で明らかになりました。記事が掲載されており、以前はスズメのように、以前は身近にたくさんいた生き物の減り方が特に目立つそうです。スズメは一年あたり二、三パーセントも減っているとのことでした。

野鳥に対しての餌付けに関しては賛否両論あると思います。皆様はどの様なご意見でしょうか?



中野2丁目歩道等の除雪ボランティア

秋葉区役所は児童生徒の通学路の歩道は除雪を行います。それ以外の歩道は除雪計画に含まれません。

中野2丁目町内会は除雪計画に含まれない県道新潟新津線、県道荻川停車場線、県道新潟中央環状線の歩道が延べ1kmもあり多くの方が利用しています。歩道の除雪が行われないと交通量の多い車道を歩くと大変危険です。

この様な状況をかみ町内会で話し合い役員、氏子総代、クリーンにいが推進員の皆様から賛同を得て他にボランティアを募集し、今年で4年目となり総勢12名で除雪隊を立ち上げ秋葉区役所に届出し活動しています。

本年度は1月10日(金)午後1時半から除雪機2台とスコップを使用して歩道1km交差点31ヶ所、バス停2箇所、ゴミステーション4箇所の除雪を8名で約2時間掛け活動しました。今後も降雪20センチ以上には適時活動してまいります。



ゴミ拾いウォーク⑥ ボランティア募集

明楽会(あらかくかい)では、荻川地区で和気あいあいと歩きながらゴミ拾い活動をする「ゴミ拾いウォーク」を定期的に行っております。6回目の今回、私達と一緒に活動して下さい。ボランティアを募集中です。

- 日時: 3月23日(日) 10時
- 集合: コミセン駐車場

●ゴミ拾いを行う場所: マイロード 桜の舞(うみち)(覚路津)

当日終了後にランチを予定しております。各自実費になります。ご希望の方はご絡みください。

●お問合せ: (小泉)



4月スタート! 荻川わんわんパトロール隊

犬の散歩は時間も場所も頻度もそれぞれ異なるから、多方面に目が行き届きやすいです。普段どおり腕章などのグッズを付けて行うことで、見守られる範囲が広がって防犯パトロール活動になります。この活動が飼主のマナー向上と、子どもたちや高齢者の見守りに少しもお役に立つことが出来たらと思います。日常の行動が地域の防犯や防災に繋がります。誰もが安心して暮らせる地域であり続けるためには住民の皆様のご理解と協力が必要です。

無理なく出来る範囲のことから、気楽に安全に和やかに細く長く活動を続けていきたいと志し、この想いを共感して下さるわんぱつ隊メンバーを常時募集しております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

荻川わんわんパトロール隊準備委員会
代表: 松田恭子(防災士)

想い出

JR東日本の第1号女性運転士に関わった思い出。最近ふと思いだした事があります。

もうJRを退職して5年になりました。それは、今から約22年前、平成14年頃(2002年)だと思えます。JR東日本の社員養成機関の研修センターで講師をしていた頃の話です。当時は運転士の養成を担当していました。

年1回行われる人数は約200人位だと思えます。事前情報で女性が入ってくるということでした。今まで男性しかいないところに大変苦労するだろうなあと感じていました。そして誰が担当するんだろうと、他人事のように思っていました。そんな中、上司より「お前のクラスに入れることになりました」と報告がありました。思わず「え」と言葉になりませんでした。

平成13年の12月に入所し、約3か月間の学科講習と現場の5か月間のハンドル訓練の予定です。

この3か月の間にどういう風に、教育して運転士の知識と心構えを教え、全員が現場のハンドル訓練に行けるかを考えました。先ずは、女性として扱ってと不平等が起こるか

もしれないと思ひ、女性に面談を行い本人の意識確認を確かめることにしました。いざ面談を行ったが本人はとてハキハキしており、「私も、男性に負けなつもりで来ています」とキッパリ言った事を今でも憶えています。「これは期待できるな」と思いました。

学科講習の始まる前、クラスで意思疎通を図ることにしました。

「このクラスはJR東日本の初の女性運転士が誕生するかも知れません。男女関係なく学科を行っていくので、皆もそのつもりでいてくれ」と意思疎通を図りました。この時、クラス全員が「運転士」を目指しているという目標に向かおうと走り出したと思えました。

約3か月机上教育を終え、学科の国家試験に合格し、3月からは現場の技能教育(ハンドル訓練)へ5か月間の旅へと巣立っていき、また、運転士になるには学科試験、技能試験の2つの国家試験に合格しなければなりません。運転士になることが出来ません。技能試験は営業列車を、3年以上の経験した先輩運転士と一緒に運転技術を学ぶのです。

約4か月間のハンドル訓練を終えて技能試験となるのです。女性見習い運転士として配属された運転区所は、他に11名の男性見習いというふうになっています。

途中、中間進捗を確認する規定があり、その区所に見習い運転士全員の進捗状態の確認を行いました。その中でも女性には、人一倍こえが大きい信号の確認、機器の取り扱いなどをキビジ行っていました。順調に育っているなど感じました。いよいよ本番の技能試験です。

本来、試験官は国の関係機関から派遣され試験を行うのですが、JR東日本研修センターが代行して試験官となり、二時的に国の機関に成るのです。

試験中は、JR東日本初の女性運転士誕生と、私情を入れてはならないプレッシャーを感じながら試験を行った記憶があります。信号欲呼、機器の動作確認、ブレーキ扱い、出区点検等、文句なしで技能試験に合格しました。

試験一か月後、晴れて運転免許証が発行されます。入所から運転免許証の発行まで八か月後、JR東日本の初の女性運転士誕生となった訳であります。

私は、国鉄に入り、その後JR東日本へと移り変わり、運転士から運転士養成する講師になるとは夢にも思っていませんでした。そして、JR東日本の初の女性運転士の誕生を、この目で果たせたことに感動しています。

又、学科講習、技能試験官、クラス担任として非常に貴重な体験をさせていただいたことを人生の1ページに刻んでおきたいと思っています。

二中だより

新津第二中学校 校長 貝塚敦

昨年十二月に、お一人の方から、新津第二中学校で、生き方講話をしていただきました。

まず、十二月十三日、平成二十四年度卒業生で、現在マンガ家として活躍中の頼間リヨ(本名本間梨予)さんによる二年生を対象にした、「マンガと私」今中学生に伝えたい」と題しての講話でした。

自分の夢を叶えるまでに心が折れず頑張れたのは、自分を支えてくれた家族等の応援があったからこそ。周囲への感謝の気持ちを常に忘れないこと。どんな仕事や夢をめざすにしても、学生時代に幅広い知識や教養の獲得、様々な社会経験を積み重ねることが大切だということ。念願のマンガ家となった今でも苦勞の連続の日々だが、自分が一番好きなことを仕事にできていることに誇りと幸せを感じている。

このような内容を語ってくれた最後に、生徒の目の前で、大洋紙に自分の作品のキャラクターを颯爽と描いて見せていただき、生徒は皆大喜びでした。

続いて、十二月二十四日の年内最終授業日。元新潟日報社長・現相談役の小田敏三さんから「新聞と私」今中学生に伝えたいこと」と題して、全校生徒や地域の皆さんにご講話いただきました。

言うまでもなく、小田さんは、田中角栄の番記者を経験し、政治や拉致問題等に取り組んだ記者出身で、その後、社長、会長として新潟日報の経営に携われた方です。



記者時代の大震災やいじめ問題の取材経験やある新聞広告の内容をもとに、真実を伝える、真実を知るための根底にあるものは「やさしさ」であること。そのため、いろいろな角度や立場や価値観からものごとを見ることの大切さについて熱く語っていただきました。

合わせて、「自宅で長年大切に使用していた大水槽とかわいがって飼育していた鑑賞魚の「アレコ」を当校に譲呈していただきました。

このように、中学校では、この一年間、「地域」「社会」「未来」とのつながりを意識した教育活動の一環として、外部人材等の教育資源を積極的に活用した取組を継続展開してまいります。

日常の机上の授業では得られない多くの

知見・感性・生きるヒントや元気を子どもたちに与えていただいた有意義な取組だったと確信しています。

ただし、子どもに語れる、子どもを教え導くのは、世間功なり名を遂げた方だけとは限りません。

毎日毎日、荻川駅前でゴミを拾っている方を見かけます。朝の暗いうちから、黙々ランニングしている方がいます。いつも仲良く散歩している微笑ましい夫婦の方も見かけます。小学校の登下校の見守り隊で、子どもたち以上に元氣な挨拶をしてくれる方もいます。

その他にも、様々なところでいろんな場所です。毎日、荻川駅前でゴミを拾っている方を見かけます。朝の暗いうちから、黙々ランニングしている方がいます。いつも仲良く散歩している微笑ましい夫婦の方も見かけます。小学校の登下校の見守り隊で、子どもたち以上に元氣な挨拶をしてくれる方もいます。

その他にも、様々なところでいろんな場所です。毎日、荻川駅前でゴミを拾っている方を見かけます。朝の暗いうちから、黙々ランニングしている方がいます。いつも仲良く散歩している微笑ましい夫婦の方も見かけます。小学校の登下校の見守り隊で、子どもたち以上に元氣な挨拶をしてくれる方もいます。

教材の宝庫として、学校と同様に、地域に求める役割と地域が担う責任は今後益々大きくなります。新津一中学区の幼小中学校の理解と支援という段階にとどまらず、

「学校と地域がともにある一姿」というのはいかなる姿なのか、その具体的な理想像とその方策をあらためて早急に考えていかなければならない。今がその新時代の到来だと捉えています。

令和七年度がスタートし、早三か月が経過しました。今この原稿を書いている数日前の二月二日、恒例の箱根駅伝をテレビで視聴しました。第五区の出陣を日本大学のランナーとしてゴールを目指して走っていたのは、平成三十年度の当校卒業生鈴木孔士君でした。

地域の員であり当校出身の彼の力走に、新年早々元氣をもらって、今年もスタートを切ることができました。

四月から各学校は新年度を迎えます。学校も地域も、四月が真の新年です。学校も地域も、また新たな峠をめざしてともに新たな二歩を踏み出してまいりたいと思います。

輪投げ練習はつらつ体操グループ合同新年会

1月22日(水)に輪投げ練習グループと、はつらつ体操グループの合同新年会が20人の参加を得て、賑やかに開催されました。

普段は活動日が異なるグループの交流は、賑やかに楽しい会になりました。

会が盛り上がるなか、石野会長のハートフルに合わせた全員の合唱。

城山さんの得意な詩吟に加え、松鷹さんによる「長編歌謡浪曲元禄名植語「俵屋玄蕃」」の熱演は大好評で、大いに盛り上がりました。

楽しい輪投げ練習

輪投げ練習は、第1と第3水曜日の午後1時から3時までの2時間、中野公会堂で行っています。

輪投げの輪はスポンジ製で4m先にある9本の棒が立体的(まど)を目標に、投げます。

1回に9個の輪を投げて、輪が入った棒の下に表示されている得点を加算します。(1点から9点の得点合計)

投げ方のルールは、①輪は片手で投げる、②両足は床面に接している、③投輪ラインの後方から投げる、④輪が的に落ちるまでラインを踏んだり超えたりしない。

競技は比較的簡単ですが、高得点にするのは中々難しいです。



クリスマス会(65歳以上)の開催

荻島自治会

荻島町内会1丁目(3丁目合同、荻島荻友会共催で、令和6年12月13日(金)に65歳以上のクリスマス会を行いました。

寒くなったこの頃に、家の中に籠らず、外に出て、皆さんとの会話で、ストレスを発散して心身の健康を図る事を目的としました。

雪も無く曇空で寒い日では有りましたが、37名の人に参加を戴きました。

伊藤自治会会長、久保田荻友会会長の挨拶の後に、輪投げ、カラオケを行い、輪投げでは個々の点数を競い合い、カラオケの最中には、歌に合わせて、踊りを披露してくれた人もいて、楽しい時間を過ごしてくれました。

そして、会の途中には、軽い体操も行い、トラブルも無く皆さんの笑顔が見られて、無事に終える事が出来ました。



..... 荻川駅前交番だより

自転車から離れる際は必ず鍵をかけて下さい!

3月になり、暖かい春の日差しに誘われ、自転車に乗る機会も多くなると思いますが、この時期から増えてくるのが自転車盗(自転車どろぼう)です。荻川駅前交番管内でも被害が発生しています。

荻川駅やお店の駐輪場はもちろんのこと、家の前や敷地内にあっても盗まれることがあります。

被害にあう自転車のほとんどが、家の前や敷地内にあっても盗まれることがあります。

被害にあう自転車のほとんどが、鍵をかけていません。

警察でもパトロールをして犯人の発見に努めています。

しかし、皆さんも被害にあわないために、

短時間でも自転車から離れる際は鍵をかけるようにしましょう!!

自転車の鍵を**2個以上(ツーロック)**かけることが有効です。

また、被害にあったときのためにも、自転車を購入したら、**防犯登録を忘れないで下さい。** (荻川駅前交番)

会員募集 楽陶会(やきものサークル)

マイカップでコーヒーを飲んでみませんか。

湯呑、お皿、茶碗、花器等 作品を作ってみませんか。

希望者はいつでも見学、体験、入会ができます。

◎開催日時 毎月 第2・第4水曜日

午後1時から午後3時30分まで

◎開催場所 荻川コミュニティセンター内(やきもの棟)

◎講師 押味くみ子先生(新津焼もえぎ陶房)

◎会費 月額3,000円

(粘土1kg、釉薬、焼成プロパン代金等を含む)

◎問い合わせ 楽陶会(土屋 ☎ 木川 ☎)



令和7年度「荻川歩こう会」新規会員募集

地域に根ざした親しみのある、低山めぐりを主体とした山歩きのみです。豊かな自然の中に入り、四季折々に触れながら会員相互の親睦と健康増進を図ります。

会員の年齢は60歳～70歳代が中心ですが、80歳代も頑張っています。七年度スタート時点の会員数は39名です。勿論女性も半数近くおられます。

本年度はゴンドラやリフト等も利用して「行ってみたい」とワクワクする計画を作りました。

若い方で日曜日であれば時間ができる方、退職後等で身体を動かしてみたい方等、是非一緒に良い汗を流しましょう。

皆様のご入会を心よりお待ちしております!

◎入会申込先

村松 良一() 金子 千鶴()

小林巴実彦() 鈴木 京子()

尚、入会申込書は荻川コミュニティセンター玄関テーブル上にも備えてあります。

◎年会費

個人会員は、1,500円 ワッペン代1,000円 計2,500円必要です。

夫婦会員は、各々1,200円とワッペン代1,000円 計2,200円必要です。

令和6年度 行事計画

実施日	曜日	行き先	コメント
4月13日	第2日曜日	六万騎山(八海山神社)	早春の可憐な花々
5月11日	第2日曜日	上越歴史の跡	歴史探訪 国分寺春日山

*7月の行事は一泊2日で計画します。 *行事はバス利用を基本としています。

*6月以降は、次号に掲載します。

お知らせ・情報・会員募集コーナー

令和7年度「いきいき塾」会員募集

「荻川いきいき塾」は平成8年(1996年)2月に「屋外事業」「屋内各種教室・クラブ」に参加し、塾生(会員)相互の親睦を深め、地域住民にコミュニティ活動への積極的参加を呼びかける。「健康で長生き」「寝たきりゼロ」を目的で立ち上げた親睦団体です。

現在は「12」の下記「屋内各種教室・クラブ」で、300名近い会員が活動しています。

荻川住民の方々からは是非、塾生(会員)となっていいただき、一緒に楽しい日常生活を過ごしませんか。

※「塾費(会費):」単身1,000円、夫婦1,500円

尚、継続の方は、毎年更新手続が必要です。

※「屋内教室」(各クラブ)

クラブ・教室名	活動日	開催時間	会費
いきいき体操教室	毎週 土曜日	10:00~12:00	月額 750円
にこにこ体操教室	毎月 第2・4金曜日	10:00~11:30	月額 500円
はつらつ体操	毎月 第2・4火曜日	10:00~11:30	月額 750円
ロコモ予防体操会	毎月 第2・4木曜日	3月~11月 9:30~11:00 12~2月 10:00~11:30	年額 2,000円
カラオケ火曜クラブ	毎月 第2・4火曜日	13:00~16:00	月額 750円
カラオケ木曜クラブ	毎月 第2・4木曜日	13:00~16:00	月額 750円
4Fカラオケクラブ	毎月 第1・3金曜日	13:00~16:00	月額 750円
パソコンクラブ	毎週 金曜日	13:00~16:00	月額 500円
健康麻雀クラブ「木曜会」	毎週 木曜日	13:00~16:30	入会金:1千円 年額 4,000円
健康麻雀クラブ「土曜会」	毎週 土曜日	13:00~17:00	「木曜会」+ 1回 100円
※「木曜会」の入会が必要です。	尚、第3土曜日のみ、火曜日		
うたごえ	毎月 第1・3木曜日	10:00~11:30	月額 500円
いきいきダンス	毎月 第2・3・4土曜日	10:00~12:00	月額 500円

※「野外事業」(春・秋の日帰り旅行)

◎春の日和山公園桜などの旅	4月14日(月)	かも水族館と酒田市内各地
◎秋の苗場山・田代高原紅葉の旅	10月27日(月)	苗場ドラゴンドラ

「荻川写真クラブ」会員募集

写真を楽しむ人も、コンテストを目指す人も歓迎

次のような活動をしています。

①月例会

時間 原則として毎月第3土曜日午後1時30分から(見学可)

場所 荻川コミュニティセンター

講師による講習会

講師 公益社団法人日本写真家協会会員 山田 昌男先生

②コンテストに挑戦

県展、芸展、新潟市展、秋葉区展などに応募

令和6年度→入選、奨励賞、優秀賞などに入賞

③コミセン文化祭に参加、会員展、荻川駅ミニギャラリーなどに展示

④撮影旅行 年2回実施(R6:春→只見線第一橋梁、秋→奥会津紅葉)

⑤会費…年額 8,000円(中途入会月割り納入)

連絡先…金子() 野村()

編集後記

歳を重ね、年相応に「断捨離」にぶつかると、読み返すこともない飾りであるだけの本、タンスの肥やしとなつている何年も袖を通したこともない衣類、似たような形のバッグ類、聴かないCDなどなど。あああ捨てられない、お金出して買ったんだよなあ、勿体ない、昔の人間ゆえ、はたまたまた単なる優柔不断なのか、捨てる、手放す勇氣がない、またいつか読むかもしれない、聴くかもしれない、使う時があるかもしれない…なんでもいう気持ちは、まず断捨離したいものだ。片付けの専門家によれば、3年使わなかつたら、もう不用品！要らない物！捨てていいものだそう。身軽で快適な生活、実現したいものだ。決断が迫られます。

(60代 男性)

荻川やすらぎの間 参加者を募集しています

お茶の間「荻川やすらぎの間」では、高齢者の皆さんが健康づくり、仲間づくりをしながら和気あいあいと楽しいひとときを過ごしています。

大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

●開催日時 毎週水曜日午後1時から3時

●開催場所 荻川コミセン機能訓練室

●参加費 200円(茶菓代等)

●送迎をご希望の方はご相談ください。見学、お試し参加は自由です。

●お問い合わせは荻川コミセンへ(電話24-5776)

